



学校だより

南の風

第 12 号

令和元年 7月19日

大洗町立南中学校

さまざまな教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。本日、第1学期終業式を迎えました。

授業参観

7月9日(火)

お子様の様子を授業を通してご覧いただきました。学習に対して前向きな姿勢や友だちと学び合う姿に成長を感じていただけましたでしょうか。懇談会への参加もありがとうございました。



小中引渡し訓練

7月17日(水)緊急時に安全に、そして確実に保護者の方へお子様をお渡しするため、新体育館では初めてとなる小中合同の引渡し訓練を行いました。きちんと検証をして、課題に対処したいと思います



令和元年度第1学期終業式

(式辞の全文を紹介します)

始業式の日から、早いもので4か月が過ぎました。ただいまは、生徒を代表して3名の生徒から1学期の反省について発表がありました。3年生の成田大翔さんからは、修学旅行で友だちと協力してたくさん思い出を創ることができたことや、部活動で惜しくも1点差で負けてしまった悔しさについて述べられていました。特に発表の中で、旅行先で出会った方々への感謝の言葉や、仲間と共に最後まで戦ったことへの誇りといった言葉に、3年生の代表にふさわしい、心の成長を感じました。2年生の坪山杏奈さんからは、好きな絵を描き続けた結果、全国絵画展で入賞したことや、苦手な英語に対して英単語をひたすら練習してテストに臨んだことについて発表がありました。改めて、努力し続けることへの大切さを述べ、さらには2学期もチャレンジする心ががんばりたいという、すばらしい意気込みを発表してくれました。1年生の落合祐太さんからは、初めて経験した中間テストや期末テストに対する反省と今後の勉強への意気込みを感じました。また、新しいことにチャレンジしたいという気持ちでバスケット部に入部し、きつい練習にも諦めずに続けるという力強い発表からは、中学校に入学して今日までの大きな成長を感じました。これからの活躍に期待のもてる発表でした。そして、代表生徒の発表を真剣に聞いていたみなさんからは、1学期を精一杯がんばった、4月と比べると成長したという思いを感じました。成田さん、坪山さん、落合さん、発表ありがとうございました。さて、私が始業式にみなさんに話をした内容を覚えていますか。あの時、元ニューヨーク・ヤンキースの松井秀樹さんの話をしました。野球に対する心の向け方や周りの人への心遣いを大切にすることで行いが変わり、人間としての在り方が磨かれ、運命の扉が開かれたという内容でした。そして、「周りの人に感動を与えることができれば、みなさんの運命も変わっていくと信じています。」というメッセージをみなさんに伝えました。そこで、1学期のみなさんの姿を写真で振り返ってみたいと思います。(スライド上映 約5分)



今、スライドで振り返った感動的な姿は、もっとたくさんありました。時間の関係で、お目につけられないのが残念です。それぐらい、みなさんから、たくさんの笑顔と感動をいただきました。そんな、みなさんを誇りに思います。そして、2学期は、もっともっと多くの笑顔と感動の場面を共に創っていきましょう。ですから、夏休みを迎えるにあたっての私からのお願いはただ一つです。どうか、夏休みを「安全に」過ごしてください。「命」は一つしかありません。命を落とすようなことが絶対に起こらないように、「命」を大切に過ごしてください。それでは、2学期の始業式に、全員の明るい笑顔に会えることを楽しみにしています。